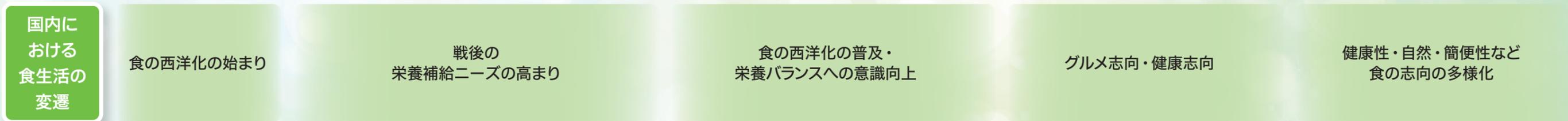
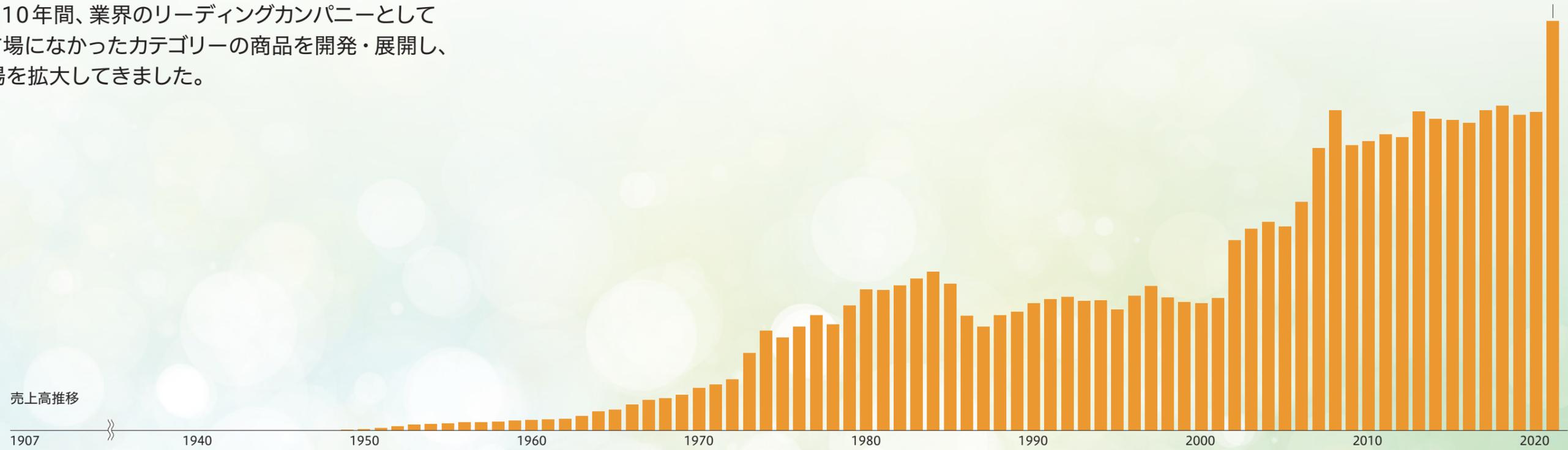


日清オイリオグループの価値創造ストーリー

# 1. 成長の軌跡

創業以来110年間、業界のリーディングカンパニーとしてこれまで市場になかったカテゴリーの商品を開発・展開し、食用油市場を拡大してきました。

4,327億円  
(2021年度)



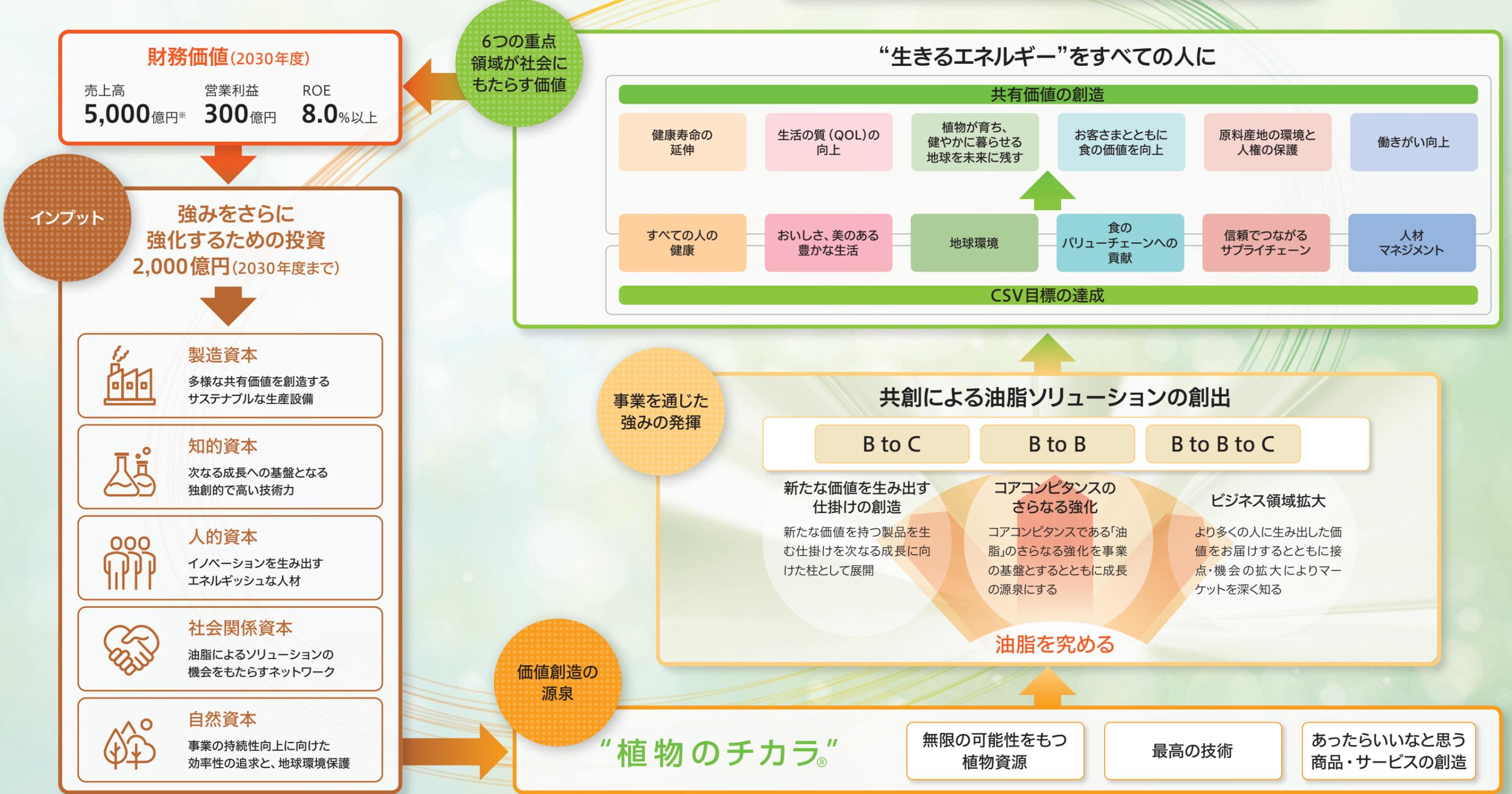
商品発売の歴史	<p>1907年 日清豆粕製造(株) 創立</p> <p>1924年 日本初のサラダ油「日清サラダ油」を発売</p> <p>1927年頃</p>	<p>1951年 食用油ギフトセット発売</p> <p>1959年頃</p>	<p>1963年 横浜磯子工場の操業開始</p>	<p>1980年 純植物性マヨネーズタイプ調味料「日清マヨドレ」を発売</p> <p>1992年 「日清キャノーラ油」を発売</p>	<p>2002年 日清製油(株)、リノール油脂(株)、ニッコー製油(株)が経営統合、日清オイリオグループが誕生</p> <p>2003年 特定保健用食品「ヘルシーリセット」を発売</p>	<p>2012年 「エネブリン」を発売</p> <p>2017年 「日清MCTオイルHC」を発売</p>
	<p>● 野菜の生食文化の普及に寄与</p>	<p>● お中元、お歳暮文化の普及に寄与</p> <p>● 大量生産によるお買い求めやすいサラダ油の提供</p>		<p>● コレステロール、卵を気にされる方も食べられるマヨネーズタイプ調味料の提供</p> <p>● 揚げ物品質の向上に寄与</p>	<p>● オリーブオイルの普及・定着化に寄与</p> <p>● 特定保健用食品の発売により健康に貢献</p>	<p>● 高齢者・要介護者向けエネルギー補給・低栄養対策に寄与</p> <p>● 新たな食べ方・摂り方の提案により食の手軽な健康性に寄与</p>
	提供価値 (共有価値)	<p>サラダ油のある食文化を創出</p>		<p>油脂と調味料における選択肢の提供</p>	<p>商品に使い方や機能性などの情報を加えることによる食生活への貢献</p>	<p>商品ラインアップの拡充による多様なニーズへのお応え</p>

日清オイリオグループの価値創造ストーリー

## 2. 価値創造モデル

当社グループは、植物資源を起源とした事業活動、すなわち“植物のチカラ®”と“油脂をさらに究めた強み”で、共創による油脂ソリューションを創出していきます。そして、6つの重点領域を通じて多様な価値を持つ“生きるエネルギー”を生み出し、すべての人にお届けします。“生きるエネルギー”は社会課題を解決する一方で、次なる成長のための植物資源の循環や技術の進化を可能とする資本を生み出します。再度投入された資本によって、さらに油脂を究め、社会課題を解決する“生きるエネルギー”を生み出します。このプロセスの循環を通じて、サステナビリティを実現していきます。

**サステナビリティの実現**  
企業価値の追求と、その最大化を通じた人々・社会・経済の発展への貢献



\* 売上高は、2021年4月策定時の数値。2024年度の売上高目標は足元の歴史的な原材料価格の高騰を踏まえ、当初の4,000億円から5,400億円へ上方修正。2030年度の売上高目標は事業環境の変化を予測することが難しいため、現時点では策定時のまま。今後事業を取り巻く環境変化等を勘案し、適宜見直しを検討予定。

日清オイリオグループの価値創造ストーリー

### 3. インプット

日清オイリオグループのコアコンピタンスは「油脂」。「グローバルトップレベルの油脂ソリューション企業」に向け、長年積み重ねてきた資本をさらに強化するために、2024年度までに1,000億円の投資を行います。

現在の姿

2024年度までに1,000億円の投資を実施※



#### 製造資本

多様な共有価値を創造する  
サステナブルな生産設備

- 7か国19社の拠点を構築
- 効率的な機器の継続的な導入や運転管理技術により安定的・効率的な操業を実現

#### 設備投資

2011年度 57億円 ▶ 2021年度 92億円

生産能力の拡充  
100億円

- チョコレート用油脂生産能力増強など

DX投資  
50億円

- 名古屋工場のスマートファクトリー化

更新投資  
200億円



#### 知的資本

次なる成長への基盤となる  
独創的で高い技術力

- 油脂に関する長年の基礎研究によって積み重ねてきた知見と、お客さまのニーズや市場に合わせた商品開発のノウハウ
- 自社の技術とブランドを活用するための戦略的な知的財産戦略

#### 保有特許件数

2011年度 約240件 ▶ 2021年度 約610件

共創への仕掛け  
100億円

- 横浜磯子事業場におけるインキュベーション機能の強化・実装
- 機能性素材マーケティング



#### 人的資本

イノベーションを生み出す  
エネルギッシュな人材

- 生産、品質、お客さまへの対応などすべてにおけるきめ細やかで真摯な姿勢と、チームワークを大切にする社風
- 「教育最優先」の方針に基づく充実した教育・研修制度

#### 1人当たり営業利益

2011年度 2.1百万円/人 ▶ 2021年度 3.9百万円/人

積極的な人材投資

- 高度専門人材の経験者採用強化
- 人材開発投資拡充
- 競争力ある報酬水準の実現



#### 社会関係資本

油脂によるソリューションの  
機会をもたらすネットワーク

- (国内) 食卓から工場まで、多様な販売チャネルとのつながり
- (海外) 加工油脂、ファインケミカルを中心に、グローバルネットワークを構築
- 持続可能な事業運営を可能とするサプライチェーンを構築

#### 拠点設置国数

2011年度 5か国 ▶ 2021年度 7か国

共創へのネットワーク構築

- 価値共創のプラットフォーム・コンソーシアムなどへの参画

サプライチェーンの  
持続可能性のさらなる強化

- トレーサビリティの確保と人権デュー・ディリジェンスの実施



#### 自然資本

事業の持続性向上に向けた  
効率性の追求と地球環境保護

- 「調達基本方針」「パーム油調達方針」「大豆調達方針」「カカオ調達方針」を策定し、持続可能な調達を推進
- 効率的な機器の導入や運転管理技術の高度化により、継続的なCO<sub>2</sub>排出量削減を実現

#### CO<sub>2</sub>排出量原単位

2011年度 0.275 t-CO<sub>2</sub>/t ▶ 2021年度 0.119 t-CO<sub>2</sub>/t

環境投資  
50億円

- 環境配慮型の生産設備の導入
- 堺工場を中心とした再生可能エネルギー設備の導入

※ 投資にはM&A500億円(予定)を含む

## 4. 事業を通じた強みの発揮

当社グループの強みは「油脂を究める」ことです。コアコンピタンスである「油脂」をさらに強化するとともに、新たな価値を生み出す仕掛けの創造とビジネス領域の拡大に取り組みます。強みを最大限に発揮することで、油脂と油脂の強みを活かした領域で新しい価値を創造し、グローバルトップレベルの油脂ソリューション企業への飛躍を遂げます。

# 油脂と油脂の強みを活かした領域で新しい価値を創造し、 グローバルトップレベルの油脂ソリューション企業へ



当社の強み  
**油脂を究める**

日清オイリオグループの価値創造ストーリー

## 5. 重点領域が社会にもたらす価値

6つの重点領域における価値創造を通じて  
さらなる企業価値を追求し、人々・社会・経済の発展に貢献します。

「すべての人の健康」「おいしさ、美のある豊かな生活」「地球環境」「食のバリューチェーンへの貢献」「信頼でつながるサプライチェーン」「人材マネジメント」という6つの重点領域における課題解決を通じた社会との共有価値の創造（CSV）を成長ドライバーとし、企業価値を追求するとともに、人々・社会・経済の発展に貢献します。

